

## あとがき

そのルーツをたどれば遠く七世紀にまでさかのぼることができ、かつ今なお地域の主要な産地産業の地位を占めている奈良県の配置家庭薬業界の歴史については、これまでにもさまざまな貴重な調査・研究が行われてきた。

しかし、古代から現代に至るその永い歩みを資料的に裏付け、これを系統的に整理・解析を試みた「通史」は、昭和七年刊行の『大和売薬史』（奈良日报社）以外にこれを見ることができなかった。

このため、奈良県薬業連合会は奈良県薬業史編さん審議会を設置し、専門研究者を専門委員に、薬事行政関係者や業界団体役員を調査委員に、それぞれ委嘱して、昭和六十年から薬業史編纂の準備にかかり、関係資料の収集・整理や業界関係者からの聴き取りを開始した。その成果が昭和六十三年刊行の『奈良県薬業史』資料編である。

これに基づいて通史編の執筆と編集に取り組み、各専門委員がそれぞれの時代を担当し、研究会や編集会議での意見交換・討論とそれを通じての調整を積み重ねて、ここによりやく刊行の運びとなった。

本編各章の執筆は次の各専門委員が担当した。また全編の調整・編集等については安彦専門委員の労苦に待つところが大きかったことを特記しておきたい。

- |     |       |     |       |     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 第一章 | 安彦 勘吾 | 第二章 | 木村 博一 | 第三章 | 安彦 勘吾 | 第四章 | 三宅順一郎 |
| 第五章 | 武智 京三 | 第六章 | 山田 信武 | 第七章 | 橋爪 勝次 |     |       |

末尾ながら終始変わらざるご教示、ご協力を賜った調査委員や事務局員各位と、貴重な資料の提供やお話を拝聴させて頂いた業界各位に対して、専門委員一同の衷心からの謝意を捧げる次第である。

平成三年十月

奈良県薬業史編さん審議会

専門委員長 三宅 順一郎

奈良県葉業史編さん審議会

会長 佐藤 又一

副会長 小柴 利治 谷口 栄一 湧田 美輝 吉田 敬 喜多 稔

顧問 増田 弥内 森本覚次郎

専門委員

委員長 奈良県立商科大学長 三宅順一郎

帝塚山短期大学教授 安彦 勘吾 (以下五〇音順)

奈良教育大学名誉教授 木村 博一

元帝塚山短期大学非常勤講師 千田 正美

近畿大学商経学部教授 武知 京三

奈良県立商科大学教授 橋爪 勝次

金蘭短期大学非常勤講師 山田 信武

調査委員 伊藤 弘 田村 忠和 藤本 裕一 桂木 治雄 堀内 靖介

四方 治 阪口 重男 上田 保之 城 尚信 神橋 俊隆

事務局 伊藤 弘 四方 治 中嶋 源治

奈良県薬業史 通史編

平成三年十月一日 印刷  
平成三年十月十日 発行

編集 奈良県薬業史編さん審議会

発行 奈良県薬業連合会

御所市六〇五番地の一〇

印刷 共同精版印刷株式会社

奈良市三條大路二丁目二番六号